

# 耕作放棄地の確認及び解消に向けて

河合町農業委員会

## 1. 河合町の農業の概要

農業は、古くから農業用水の水源として多くのため池、大和川の本流、支流に囲まれ、吉野川分水等の水利条件が整っているため、水稻を中心に農業が営まれてきた地域です。また、丘陵地では果樹栽培（ぶどう）が盛んです。しかし、本町の農業そのものは産業規模、就業人口とも占める割合は小さく、高齢化・後継者不足により低調なものとなっています。

また、農業経営の厳しさ、農地の資産的保有としての根強さ等により耕作放棄地が拡大している状況です。



## 2. 農業委員会の活動予定

これまで農業委員会では、耕作放棄地調査を各集落の農業委員を中心に一筆調査等を実施してきましたが、どのような立地条件等で発生しているかは確認できていませんでした。

しかし、平成24年度に農業委員会に農地地図情報システムを導入しましたので、耕作放棄地等の農業関係のデータを入力し、図面化した上

で耕作放棄地や農地の活用状況の基本的な調査を行い、今後の河合町全体及び各集落における農業経営の方向等を検討していきたいと考えています。

また、現在農業大学で学習されている学生から、卒業後に農業を行う為の農地の問い合わせ等もあり、耕作放棄地等を農業委員会よりあっせんできるように活用していきたいと考えています。

